

医療薬学科（課程レベル）アセスメント・ポリシー

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	薬学について総合的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	地域社会の人々の健康生活を支えるため、薬剤師として求められる実務能力とコミュニケーション能力を身に付け、適切に活用することができる。
DP3	薬剤師として求められる倫理観を身に付け、人の生命や人としての尊厳と権利について理解し、医療従事者に求められる責任感を持って行動することができる。
DP4	薬剤師を含む専門家のコミュニティに加わり、積極的な参加者として考え行動することができる。
DP5	生涯学習する意欲と能力を身に付け、薬学に係る知識・技能の向上、健康生活の質の向上、多職種間連携の拡充に向けて、自発的に行動することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP					責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
1	臨床マインドにおけるパフォーマンス評価	1,2,3年次の1月頃に行うキャリア形成科目におけるパフォーマンス評価を踏まえた自己評価をキャリアファイルへ記載する。これに基づく成長報告書を、教員が単位認定することによりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	
2	共用試験	4年次12月頃に実施される共用試験の結果に基づく教員による合否判定（共用試験センター基準点60%以上）によりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	
3	薬局・病院実務実習	実務実習活動における評価票、実習中の課題、報告会の総合評価の成績を教員が単位認定することによりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	
4	卒業研究及び卒業論文	卒業研究に関する発表会及び論文に関するルーブリック評価票に即した自己評価、およびチューター教員と指導教員による評価を踏まえた総合評価に基づき、教員が単位認定することによりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	
5	薬学総合演習及び卒業試験	5,6年次に取組む薬学総合演習及び実力試験の得点と成長報告書の他者評価を踏まえた総合的な観点に基づき教員が単位認定することによりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	
6	単位取得	担当教員による各科目の成績評価に基づく総単位取得状況を基に、教員が進級判定及び卒業判定をすることによりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○		学部教授会	

## 医療薬学科（課程レベル）新旧DPマッピング表

### ◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	薬学について総合的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	地域社会の人々の健康生活を支えるため、薬剤師として求められる実務能力とコミュニケーション能力を身に付け、適切に活用することができる。
DP3	薬剤師として求められる倫理観を身に付け、人の生命や人としての尊厳と権利について理解し、医療従事者に求められる責任感を持って行動することができる。
DP4	薬剤師を含む専門家のコミュニティに加わり、積極的な参加者として考え行動することができる。
DP5	生涯学習する意欲と能力を身に付け、薬学に係る知識・技能の向上、健康生活の質の向上、多職種間連携の拡充に向けて、自発的に行動することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	薬剤師としての職能を発揮するために必要な知識・技能・態度を総合的に修得し、薬の専門知識を有する医療従事者として相応しい責任感と倫理観をもって、人々の生活を支えることができる。
DP2	地域で生活する人々が抱える健康に関わる問題に対して、合理的な判断に基づく解決策を提案し、他者と協力してその実践に努めることができる。
DP3	地域の保健・医療・福祉に貢献するために、生涯にわたり継続的に学び、成長する意欲と態度を有する。

### ◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP										
DP1	<u>DP1</u>										
DP2	<u>DP1</u>	<u>DP2</u>									
DP3	<u>DP3</u>										
DP4	<u>DP2</u>										
DP5	<u>DP2</u>	<u>DP3</u>									

備考